

呼吸器科

【当科での研修】

呼吸器疾患は、肺癌、肺炎、COPD、喘息、間質性肺炎など幅広い領域にまたがっており、総合的な判断力が必要とされます。また、呼吸器疾患は高齢者で発症頻度が高まるため、今後ますます呼吸器医療の必要性が高まってきます。

当科の特徴としては、肺癌、COPDを中心に、肺炎、間質性肺炎など幅広く呼吸器疾患を診療している点が挙げられます。

当科での研修では、様々な呼吸器疾患の診断・治療に必要な知識・思考過程の習得はもちろんですが、患者さんと向き合う全人的医療を目指した研修となるよう心掛けています。

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療の計画を立案することができる。

広島赤十字・原爆病院

- 5) 呼吸器科領域で用いられる主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 6) 呼吸器科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 7) 収集した情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成できる。
- 8) 症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切な長さで提示することができる。
- 9) 診療に必要な知識・情報（MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集することができる。
- 10) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日午前中にオリエンテーションを行う。
- 2) 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、指導医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。

広島赤十字・原爆病院

- 4) 月曜日の症例カンファレンスの際には、既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ、事前に準備しておくこと。
- 5) 経験した症例のうち1例の病歴要約を作成すること。

【当科の週間スケジュール】

	行事、等	担当	場所	時間
月	オリエンテーション (第1週) 外来・病棟研修 症例カンファレンス	部長、副部長 指導医	病棟カンファレンス室 外来・病棟 病棟カンファレンス室	8:30- 9:00- 17:00-18:00
火	外来・病棟研修	指導医	外来・病棟	8:30-
水	外来・病棟研修	指導医	外来・病棟	8:30-
木	外来・病棟研修 気管支鏡検査定例日	指導医	外来・病棟 1階放射線科透視室	8:30- 13:00-15:00
金	外来・病棟研修 呼吸器カンファ(内科・ 外科・放射線科、隔週) 試問(第2週)	指導医 部長、副部長	外来・病棟 病棟カンファレンス室	8:30- 17:30-19:00

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10点
学生用カルテの内容	30点
ポートフォリオの内容	10点
試問	20点

【実習指導医】

呼吸器科部長 山崎 正弘 (平成4年卒)

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・暫定指導医、日本感染症学会感染症専門医、日本がん治療認定医療機構がん治療認定医・指導医、医学博

広島赤十字・原爆病院

士

呼吸器科副部長 谷脇 雅也 (平成 12 年卒)

日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター、医学博士

呼吸器科医師 出口 奈穂子 (平成 14 年卒)

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、肺がん CT 検診認定機構肺がん CT 検診認定医師

呼吸器科医師 石山 さやか (平成 17 年卒)

日本内科学会認定内科医

呼吸器科医師 大道 和佳子 (平成 24 年卒)

日本内科学会認定内科医

呼吸器科レジデント医師 船石 邦彦 (平成 27 年卒)

【参考図書、文献】

1) 日本肺癌学会肺癌診療ガイドライン

http://www.haigan.gr.jp/modules/guideline/index.php?content_id=3

2) COPD 診断と治療のためのガイドライン第 4 版 日本呼吸器学会編

3) 成人市中肺炎診療ガイドライン 日本呼吸器学会編

4) 喘息予防・管理ガイドライン 2015 日本アレルギー学会編 協和企画

5) 特発性間質性肺炎診断と治療の手引き第 2 版 日本呼吸器学会編 南江堂

6) 気管支鏡 第 2 版 日本呼吸器内視鏡学会編 医学書院